

2014年8月20日

報道関係各位

田辺三菱製薬株式会社

アストラゼネカ社との共同研究契約の締結について

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：三津家正之）は、このたび、英国のアストラゼネカ PLC（本社：英国ロンドン、最高経営責任者（CEO）：パスカル・ソリオ）との間で、糖尿病性腎症に関する研究パイプラインの拡充に向けて、研究初期段階の創薬を推進する3年間の共同研究契約を締結したことをお知らせいたします。

本共同研究の目的は、両社の強みとなる専門性や研究資産を有効活用し、研究プログラムから糖尿病性腎症の治療に繋がる新規低分子医薬品をいち早く創製することです。本共同研究は包括的な提携であり、今後も継続的に研究プログラムの追加・変更を検討してまいります。

慢性腎臓病の中心的な疾患である糖尿病性腎症は、糖尿病を20年以上罹患している患者さんのうち、約半数の患者さんに発症します。腎機能が低下し最終的に末期腎不全に至ると、大幅に心不全の発症率や死亡率が高まります。

田辺三菱製薬は、糖尿病・腎疾患を重点疾患領域として掲げており、京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンターにおけるTMKプロジェクトを中心に、京都大学大学院医学研究科と腎疾患の共同研究を行っております。今回の共同研究によりアストラゼネカ社とのグローバルな協業体制を構築していくことで、糖尿病性腎症治療薬の創製を一日でも早く実現し、世界の患者さんの健康に貢献してまいります。

以上

《 本件に関するお問い合わせ先 》
田辺三菱製薬株式会社 広報部
TEL：06-6205-5211